

# Family

令和5年10月特別号  
(全国学力・学習状況調査)  
小野市立河合中学校舎

## 9年生 全国学力・学習状況調査について

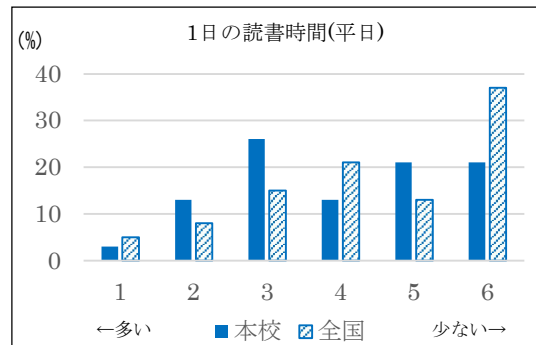
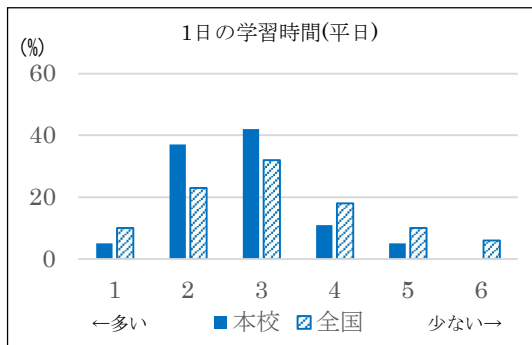
校長 高瀬 城作

9年生を対象に、全国学力・学習状況調査が4月に行われました。全国や県の結果が報道され、小野市でも結果が分析されてHP上に公表されています。本校の結果とその分析は下記のとおりです。今後とも学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの社会性を豊かにし、学力を向上させていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

### ◎生活調査の結果

#### <良好であった項目>

- ・自分には良いところがあると思いますか。 ・先生はあなたの良さを認めてくれていると思いますか。
- ・先生は、分かるまで教えてくれていると思いますか。 ・人が困っているときに進んで助けていますか。
- ・自分とちがう意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ・生活の中で幸せな気持ちになることがありますか。 ・家で自分で計画を立てて勉強していますか。
- ・学校の図書館や地域の図書館にどのくらい行きますか。 ・地域の行事に参加していますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ・他の生徒と話し合う活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。
- ・学習した内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげていますか。
- ・学級活動の話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- ・道徳の授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合う活動に取り組んでいますか。



1…3時間以上 2…3～2時間 3…2～1時間  
4…1時間～30分 5…30分以下 6…全くしない

1…2時間以上 2…2～1時間 3…1時間～30分  
4…30～10分 5…10分以下 6…全くしない

#### <全国より若干低い項目>

- ・将来の夢や目標をもっていますか。

### 【考察および今後の課題】

9年生が前向きな気持ちで日々の生活や学習に取り組んでいることが、調査から明らかになっていす。具体的には、自己肯定感および自己有用感が高く、他者との関わりにおいて異なる意見について考

えたり、他者を援助したりといったところが高評価となっています。また、道徳の授業にも積極的に参加しています。他にも、地域のために役立ちたいという思いや、地域行事への参加意欲も高いことが改めて分かりました。

学習面では、計画を立てて学習に取り組むこと、見直したことを次の学習に生かすことの項目をはじめ多くの設問で高評価となっており、学校教育について信頼関係が構築できていることが読み取れました。これらは、家庭と学校、地域が連携した教育が有効にはたらいっていることの表れであると思います。今後も9年生の力を伸ばしてけるよう取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆様、ご家庭からのご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

一方で、本校ではここ何年か将来の夢や目標に関する項目では比較的低い傾向が見られます。日々の生活に子ども達が追われているために、将来について考える時間を充分にとれていない可能性があります。今後の学校行事、総合学習などを通して、卒業後の社会との関わりについて考える機会を増やしていきたいと考えています。

## ◎学力調査の結果(全国平均と比較した本校の結果)と各教科の結果と今後の方針

### (1)国語

#### <良好であった項目>

- ・相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する。
- ・インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。
- ・「落胆する」の意味として適切なものを選択する。
- ・二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する。
- ・それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する。
- ・自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く。
- ・レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。
- ・『「判じ絵」の解説の面白さ』と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)
- ・原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す(いと)
- ・現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。

#### <改善を要する項目>

- ・『「判じ絵」とは何か』と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く。
- ・漢字を書く(おし量って)

### 【考察及び今後の指導】

本調査の結果としては極めて良好でした。特に作文を書く設問の正答率が高くなっています。これは、日ごろから授業中に書く機会を多く設けていることや、7年生の時から朝の10分間学習として新聞記事を読んで質問に答えたり、自分の考えをまとめたりする活動を継続している成果であると推察されます。加えて、話し合い活動を多く取り入れ、自分の意見を持つことやそれを他者に伝える喜びを味わっていることが、今回の「自分の考えを書く」力の土台になっていると考えられます。

課題点は漢字を書く項目でした。特に日ごろから同音異義語・同訓異字の間違いが非常に多いことが今回の「おしはかる」が書けないことにつながっていると思われます。習得した漢字や語句を日常の中で正しく活用できるよう授業を工夫していけたらと思います。

## (2)数学

<p>&lt;良好であった項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・はじめの数にかけられる数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する</li><li>・空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ</li><li>・<math>12(x/4 + y/6)</math>を計算する</li><li>・はじめの数にかけられる数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する</li><li>・二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く</li><li>・「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する</li><li>・2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する</li></ul>
<p>&lt;改善を要する項目&gt;</p> <p>なし</p>

### 【考察及び今後の指導】

全体的に良好な結果でした。6年生からの教科担任制や、少人数学級の実施の効果が表れていると考えられます。ただし、比較的正答率が低い問題に「〇〇の意味」という項目が3つあり、答えは出せるが本当の意味を理解していないことも考えられるので今後の課題となりました。

「 $12(x/4 + y/6)$ を計算する」という問題では正答率が100%であり、おの検定をはじめとした、基礎・基本の定着が見られます。また、記述で説明する問題についても、全国比で考えると高いものが多く、日頃から他者への説明を重視し周囲との関わりを大切にする小野市型の学びあいの効果が出ていると考えられます。

また、全体を通して無解答率が全国平均に比べておおむね低いことから、粘り強く取り組もうとする姿勢もうかがえました。

## (3)英語

<p>&lt;良好であった項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する</li><li>・買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する</li><li>・忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する</li><li>・バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する</li><li>・事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する</li><li>・図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する</li><li>・与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる</li><li>・動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、ゾウの誕生日を伝える</li><li>・動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、お土産としてふさわしいものとその理由を伝える</li></ul>
--

<改善を要する項目>

- ・図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する
- ・動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、次の予定を伝える
- ・動物園でのやり取りの中で、カンガルーが食べるものについて留学生に質問する

【考察及び今後の指導】

全体的に良好な結果でした。〈聞くこと〉の問題での正答率が特に高く、比較的良い状況でした。授業でリスニングを重視するとともに、反復して音読練習をしたことで、正しい発音を少しずつ習得できてきています。〈読むこと〉の問題についても、一文ずつしっかりと訳しながら内容を理解する力がついてきており、正答率は高かったです。

しかし、短い文章を読んで概要を捉える問題については課題が見られました。まとまりのある文章から要点をしっかりと読み取る力をつける必要があると考えられます。〈書くこと〉の問題では、正答率は全国平均並みの結果でした。しかしながら、まとまりのある文章を書く問題で正答率が低かったので、工夫した英作文練習が必要だと考えられます。

〈話すこと〉の問題は、全国平均と比べると良好な結果でしたが、全国で6割の生徒が正答できなかったこともあり詳細に考察することが難しいのが現状です。ともあれ、既習事項を用いて会話をする力が重要となることは確かです。今後も会話の中で文法事項をアウトプットする機会を積極的に取り入れていきたいと思えます。